

## 2018年3月期 第3四半期 決算説明会



株式会社SUBARU

取締役専務執行役員CFO 岡田 稔明  
2018年2月8日

## 2018年3月期 第3四半期決算 サマリー



### 2018年3月期 第3四半期累計 実績

- 連結販売台数、連結売上高は第3四半期累計期間として過去最高\*1を記録。
- 為替変動や売上構成の改善があったものの、米国の金利上昇に伴う販売費を中心とした諸経費等及び試験研究費の増加などにより、営業利益は減益。
- エアバッグ関連損失引当金として813億円の特別損失を計上したことなどにより、親会社株主に帰属する当期純利益は減益。

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主 当期純利益	連結販売台数
実績 (対前年実績)	2兆5,646億円 (+1,367億円)	3,063億円 (-5億円)	3,031億円 (+59億円)	1,528億円 (-547億円)	801.9千台 (+16.1千台)

\*1: 四半期連結決算の開示を始めた2004年3月期以降の過去最高

### 2018年3月期 計画

- 通期連結業績計画は、品質関連費用を中心とした諸経費等の増加と為替変動の影響などを織り込み、前回予想（2017年11月6日公表）から一部修正。
- 連結販売台数、連結売上高は、6期連続で過去最高\*2となる見通し。

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主 当期純利益	連結販売台数
計画 (対前年実績)	3兆4,100億円 (+840億円)	3,800億円 (-308億円)	3,750億円 (-193億円)	2,070億円 (-754億円)	1,067.1千台 (+2.5千台)
(対前回計画)	(+300億円)	(±0億円)	(-70億円)	(±0億円)	(-0.9千台)

<https://www.subaru.co.jp/ir/>

\*2: 通期連結決算の開示を始めた1986年3月期以降の過去最高

1

初めに、2018年3月期 第3四半期決算のサマリーです。

第3四半期累計の営業利益は、前年同期実績に対し5億円の減益と、ほぼ昨年と同じレベルとなりました。

親会社株主に帰属する当期純利益は、エアバッグ関連損失引当金として813億円の特別損失を計上したことなどにより、前年同期比547億円の減益となりました。

通期連結業績計画につきましては、2017年11月6日に公表致しました前回計画から、営業利益と親会社株主に帰属する当期純利益は変更ありません。



## 2018年3月期 第3四半期累計 実績

## 第3四半期累計 連結完成車販売台数



(千台)

	2017年3月期 3Q累計 実績	2018年3月期 3Q累計 実績	増減
登録車	83.1	97.7	+14.6
軽自動車	22.4	21.1	-1.2
<b>国内合計</b>	<b>105.5</b>	<b>118.8</b>	<b>+13.3</b>
米国	501.3	509.1	+7.8
カナダ	40.5	44.5	+4.0
ロシア	4.1	5.7	+1.6
欧州	29.8	28.5	-1.3
豪州	37.9	42.0	+4.1
中国	32.0	21.5	-10.5
その他	34.7	31.8	-3.0
<b>海外合計</b>	<b>680.3</b>	<b>683.1</b>	<b>+2.8</b>
<b>合計</b>	<b>785.8</b>	<b>801.9</b>	<b>+16.1</b>

<https://www.subaru.co.jp/ir/>

※ 中国：2017年3月期：暦年決算1～9月、2018年3月期：年度決算4～12月

3

2018年3月期 第3四半期累計の実績について、ご報告致します。

連結販売台数は、第3四半期累計期間として過去最高となる、80万1千9百台となり、前年同期比で1万6千1百台の増加となりました。

国内では、

軽自動車は前年同期比で1千2百台の減少となる2万1千1百台となりましたが、

登録車は「インプレッサ」および「SUBARU XV」の販売が好調に推移したことにより、前年同期比で1万4千6百台の増加となる9万7千7百台となり、

国内合計では前年同期比で1万3千3百台の増加となる、11万8千8百台となりました。

海外では、当社の重点市場であります北米を中心に「クロストレック」および「インプレッサ」の販売が好調に推移したことにより、前年同期比で2千8百台の増加となる68万3千1百台となりました。

## 第3四半期累計 連結業績



(億円)

	2017年3月期 3Q累計 実績	2018年3月期 3Q累計 実績	増減
<b>売上高</b>	<b>24,279</b>	<b>25,646</b>	<b>+1,367</b>
国内	4,449	4,845	+396
海外	19,830	20,801	+971
<b>営業利益</b>	<b>3,068</b>	<b>3,063</b>	<b>-5</b>
営業外損益	-96	-32	+64
<b>経常利益</b>	<b>2,972</b>	<b>3,031</b>	<b>+59</b>
特別損益	16	-855	-871
<b>税前利益</b>	<b>2,988</b>	<b>2,176</b>	<b>-812</b>
親会社株主に帰属する <b>当期純利益</b>	<b>2,075</b>	<b>1,528</b>	<b>-547</b>
<b>単独為替レート</b>	¥106/US\$	¥112/US\$	+¥5/US\$

<https://www.subaru.co.jp/ir/>

4

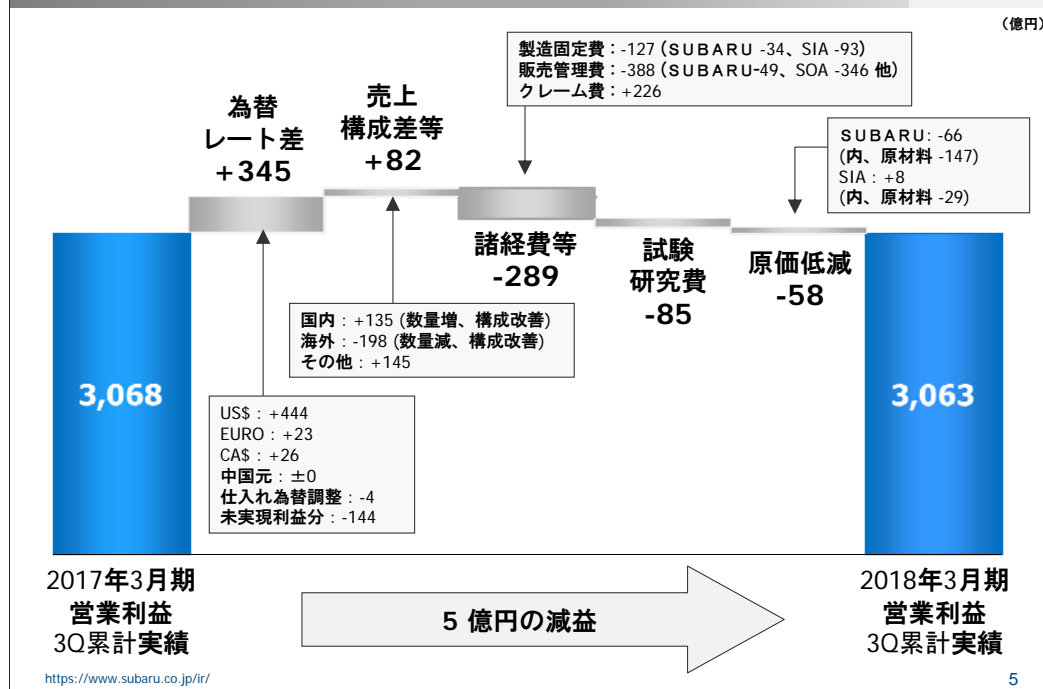
次に、連結業績です。

連結売上高は、為替レート差+876億円、売上構成差の改善+446億円、航空宇宙カンパニー等+45億円により、前年同期比1,367億円の増収となる2兆5,646億円となりました。

営業利益につきましては、為替変動および売上構成の改善などがあったものの、米国の金利上昇に伴う販売費を中心とした諸経費等ならびに試験研究費の増加などにより、前年同期比 5億円の減益となる 3,063億円、経常利益は、59億円の増益で3,031億円となりました。

親会社株主に帰属する当期純利益は、エアバッグ関連損失引当金として813億円の特別損失を計上したことなどにより、547億円の減益となる1,528億円となりました。

## 第3四半期累計 営業利益増減要因



続きまして、第3四半期累計の営業利益増減要因についてです。

増益要因は、

<1>為替レート差で+345億円です。

米ドルは約5円の円安で+444億円。ユーロは約10円の円安で+23億円、カナダドルは約5円の円安で+26億円です。その他、SUBARUと海外子会社の仕入れ為替調整で-4億円、未実現利益分で-144億円となりました。

<2>売上構成差等で+82億円です。要因は次の3つです。

- ①新車国内は+135億円。
- ②新車海外は-198億円。
- ③在庫調整等その他で+145億円です。

一方、減益要因は、

<3>諸経費等の増で-289億円です。要因は次の3つです。

- ①製造固定費の増加により-127億円です。そのうち、SUBARUは、外製型費の増により-32億円、固定加工費の増により-2億円で、-34億円。SIAは、外製型費の増により-47億円、固定加工費の増により-46億円で、-93億円となりました。
- ②販売管理費の増加で-388億円です。SUBARUは-49億円。国内ディーラーは-20億円、SOAは-346億円、カナダ子会社は-2億円、その他で+29億円となりました。SOAにつきましては、広告宣伝費等の増加により-38億円。インセンティブは、当年度は台あたり\$1,900と、前年同期の\$1,350から、\$550増加したことに加え、台数も増加したことから-308億円となりました。
- ③クレーム費の減で+226億円です。

<4>試験研究費の増加で-85億円です。

<5>原価低減で-58億円です。そのうち、SUBARUでは、原価低減により+81億円、原材料・市況等により-147億円で、-66億円。SIAでは、原価低減により+37億円、原材料等により-29億円で、+8億円となりました。

以上で、2018年3月期 第3四半期の営業利益は、前年同期実績に対し5億円の減益となる3,063億円となりました。

## 連結貸借対照表



(億円)

	2017年3月末	2017年12月末	増減
<b>総資産</b>	<b>27,623</b>	<b>27,932</b>	<b>+309</b>
流動資産	18,453	18,344	-108
固定資産	9,171	9,588	+417
<b>負債合計</b>	<b>12,974</b>	<b>12,724</b>	<b>-250</b>
有利子負債	1,483	919	-564
<b>純資産合計</b>	<b>14,649</b>	<b>15,207</b>	<b>+559</b>
利益剰余金	11,733	12,161	+429
自己資本	14,587	15,131	+545
自己資本比率	52.8%	54.2%	-
D/Eレシオ	0.10	0.06	-

<https://www.subaru.co.jp/ir/>

6

続きまして、バランスシートです。

総資産につきましては、2兆7,932億円と前期末に比べ309億円の増加となりました。

主な要因は、投資有価証券の増加186億円、有形固定資産の増加150億円、商品及び製品の増加105億円、現金及び預金と有価証券を合わせた手許資金の減少159億円などです。

負債につきましては、1兆2,724億円と前期末に比べ250億円の減少となりました。

主な要因は、支払手形及び買掛金と電子記録債務を合わせた仕入債務の減少669億円、1年内返済予定を含めた長期借入金の減少401億円、エアバッグ関連損失引当金の増加686億円などです。

純資産につきましては、1兆5,207億円と前期末に比べ559億円の増加となりました。

主な要因は、利益剰余金の増加429億円などです。

また、自己資本比率は54.2%です。

## 第3四半期累計 連結キャッシュフロー



(億円)

	2017年3月期 3Q 実績	2018年3月期 3Q 実績	増減
営業活動CF	2,164	2,546	+382
投資活動CF	-1,665	-1,320	+345
フリーCF	499	1,226	+727
財務活動CF	-1,884	-1,650	+234
換算差額	60	34	-27
現金及び現金同等物の増減	-1,325	-390	+935
連結除外に伴う現金及び 現金同等物の減少額	-	-5	-5
連結子会社の決算期変更による 現金及び現金同等物の増減額	-	37	+37
現金及び現金同等物 合計	6,970	6,928	-42

<https://www.subaru.co.jp/ir/>

7

連結キャッシュフローです。

営業活動による資金の増加は2,546億円となりました。

主な要因は、税金等調整前四半期純利益の計上2,176億円、エアバッグ関連損失引当金の計上686億円などです。

投資活動による資金の減少は1,320億円となりました。

主な要因は、固定資産の取得による支出984億円、定期預金の増加365億円などです。

その結果、フリーキャッシュフローは、1,226億円です。

財務活動による資金の減少は1,650億円となりました。

主な要因は、配当金の支払い1,101億円、長期借入金の返済による支出401億円などです。

また、現金及び現金同等物は、6,928億円となりました。



## 第3四半期累計 海外子会社業績



(Million US\$)

SOA	2017年3月期 3Q累計 実績	2018年3月期 3Q累計 実績	増減
売上高	13,454	13,901	+447
営業利益	609	336	-273
当期純利益	376	218	-158
小売販売台数(千台)	481.6	501.2	+19.5

SIA	2017年3月期 3Q累計 実績	2018年3月期 3Q累計 実績	増減
売上高	5,293	5,706	+413
営業利益	132	116	-16
当期純利益	80	65	-15
生産台数(千台)	232.2	260.4	+28.2

<https://www.subaru.co.jp/ir/>

8

次に、米国子会社の業績についてです。

SOAの小売販売台数は、「インプレッサ」、「クロストレック」の販売が好調に推移したことにより、前年同期比1万9千5百台増の50万1千2百台となりました。

売上高は、前年同期比\$447Mの増収となる\$13,901M、営業利益は、数量・構成差+\$51M、販管費の増-\$324Mにより、前年同期比\$273Mの減益となる\$336Mとなりました。

SIAの売上高は、前年同期比+\$413Mの\$5,706Mとなりました。営業損益は、数量価格構成差+\$63M、原価低減活動+\$8M、固定費増-\$87Mにより、前年同期比-\$16Mとなる\$116Mとなりました。

第3四半期累計  
設備投資・減価償却費・試験研究費・有利子負債



(億円)

	2017年3月期 3Q累計 実績 (a)	2018年3月期 3Q累計 実績 (b)	増減 (b) - (a)
設備投資	1,076	780	-295
減価償却費	541	653	+112
試験研究費	805	889	+85
有利子負債	1,455	919	-536

<https://www.subaru.co.jp/ir/>

9

第3四半期累計の設備投資につきましては、前年同期比295億円減の780億円。

減価償却費は、前年同期比112億円増の653億円。

試験研究費につきましては、前年同期比85億円増の889億円となりました。



## 2018年3月期 見通し

## 通期計画 連結完成車販売台数



(千台)

	2017年3月期 実績(a)	2018年3月期 前回計画(b)	2018年3月期 今回計画(c)	増減 (c)-(a)	増減 (c)-(b)
登録車	126.4	135.0	134.5	+8.2	-0.4
軽自動車	32.5	31.6	30.6	-1.9	-1.0
<b>国内合計</b>	<b>158.9</b>	<b>166.5</b>	<b>165.2</b>	<b>+6.2</b>	<b>-1.4</b>
米国	667.6	668.0	671.3	+3.7	+3.3
カナダ	53.1	55.6	57.0	+3.9	+1.4
ロシア	5.3	7.3	7.7	+2.3	+0.4
欧州	40.9	39.5	39.1	-1.8	-0.4
豪州	49.1	55.9	55.9	+6.8	-0.1
中国	44.0	29.8	26.3	-17.7	-3.5
その他	45.6	45.2	44.7	-0.9	-0.6
<b>海外合計</b>	<b>905.6</b>	<b>901.4</b>	<b>901.9</b>	<b>-3.7</b>	<b>+0.5</b>
<b>合計</b>	<b>1,064.5</b>	<b>1,067.9</b>	<b>1,067.1</b>	<b>+2.5</b>	<b>-0.9</b>

<https://www.subaru.co.jp/ir/>

※ 中国 2017年3月期：暦年決算1～12月、2018年3月期：年度決算4～翌3月

11

続きまして、2018年3月期 通期計画です。

連結販売台数につきましては、国内海外合計で106万7千1百台を計画しています。

前年同期比で2千5百台の増。

前回計画に対しては、9百台の減となります。

市場別では、

国内は、前年同期比6千2百台の増、前回計画に対し1千4百台の減となる、16万5千2百台。

海外は、主に北米、豪州で台数が増えたものの、中国で大きく台数を減らし、

前年同期比3千7百台の減となる90万1千9百台を計画します。

前回計画に対しては、5百台の増となります。

## 通期計画 連結業績



(億円)

	2017年3月期 実績(a)	2018年3月期 前回計画(b)	2018年3月期 今回計画(c)	増減 (c)-(a)	増減 (c)-(b)
<b>売上高</b>	<b>33,260</b>	<b>33,800</b>	<b>34,100</b>	<b>+840</b>	<b>+300</b>
<b>国内</b>	6,503	6,717	6,703	+200	-13
<b>海外</b>	26,756	27,083	27,397	+640	+313
<b>営業利益</b>	<b>4,108</b>	<b>3,800</b>	<b>3,800</b>	<b>-308</b>	<b>±0</b>
<b>経常利益</b>	<b>3,943</b>	<b>3,820</b>	<b>3,750</b>	<b>-193</b>	<b>-70</b>
<b>税前利益</b>	<b>3,947</b>	<b>2,950</b>	<b>2,880</b>	<b>-1,067</b>	<b>-70</b>
親会社株主に帰属する <b>当期純利益</b>	<b>2,824</b>	<b>2,070</b>	<b>2,070</b>	<b>-754</b>	<b>±0</b>
<b>単独為替レート</b>	¥108/US\$	¥111/US\$	¥112/US\$	+¥3/US\$	+¥1/US\$

<https://www.subaru.co.jp/ir/>

12

次に、連結業績計画です。

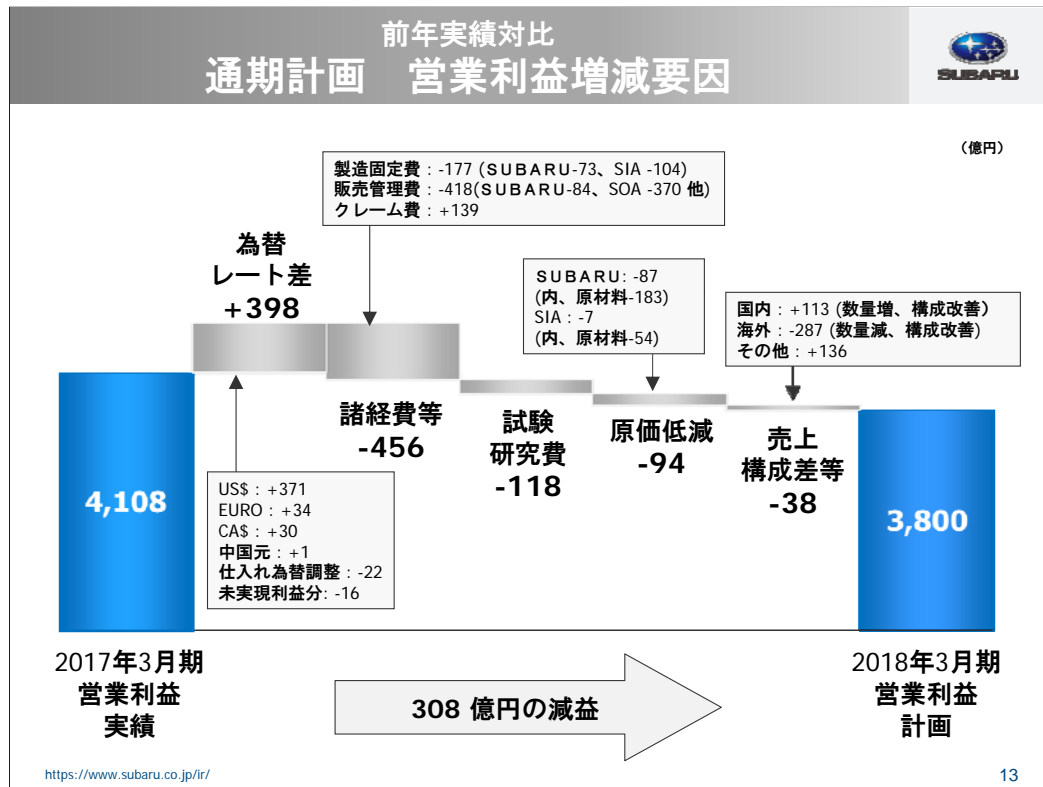
今回、為替変動や品質関連費用を中心とした諸経費等の増加、売上構成差の改善などを織り込み、前回の計画を一部修正させていただきます。

売上高は、為替レート差+791億円、売上構成差+92億円、カンパニー等-43億円により、前年同期比840億円の増収、前回計画に対し300億円の増収となる、3兆4千1百億円を見込みます。

営業利益につきましては、前回計画から変更はなく、前年同期比308億円の減益となる3,800億円。

経常利益は前年同期比193億円の減益、前回計画に対し70億の減益で、3,750億円。

親会社株主に帰属する当期純利益は、前回計画から変更はなく、前年同期比754億円減益となる2,070億円を見込みます。



続きまして、前期実績からの営業利益増減要因についてです。

増益要因は、

<1>為替レート差で+398億円です。

米ドルは約3円の円安を見込み+371億円。ユーロは約11円の円安で+34億円、カナダドルは約4円の円安で+30億円。その他、中国元で+1億円、SUBARUと海外子会社の仕入れ為替調整で-22億円、在庫未実現利益分として-16億円を計画しています。

一方、減益要因は、

<2>諸経費等の増加で-456億円です。要因は次の3つです。

①製造固定費の増加により-177億円です。そのうち、

SUBARUは、外製型費の増により-44億円、固定加工費の増により-29億円で、-73億円。

SIAは、外製型費の増により-51億円、固定加工費の増により-53億円で、-104億円を見込みます。

②販売管理費の増加で-418億円です。

SUBARUで-84億円、国内ディーラーは-23億円、SOAは-370億円、カナダ子会社は-6億円、その他で+66億円です。

SOAにつきましては、広告宣伝費等は+13億円となり、インセンティブは、当年度は台あたり\$2,000と、

前年同期の\$1,450から、\$550増える計画としており、-383億円を計画しています。

③クレーム費の減で+139億円です。

<3>試験研究費の増加で-118億円です。

<4>原価低減は-94億円です。そのうち、

SUBARUでは、原価低減により+96億円、原材料・市況等により-183億円で、-87億円。

SIAでは、原価低減により+47億円、原材料等により-54億円で、-7億円を見込みます。

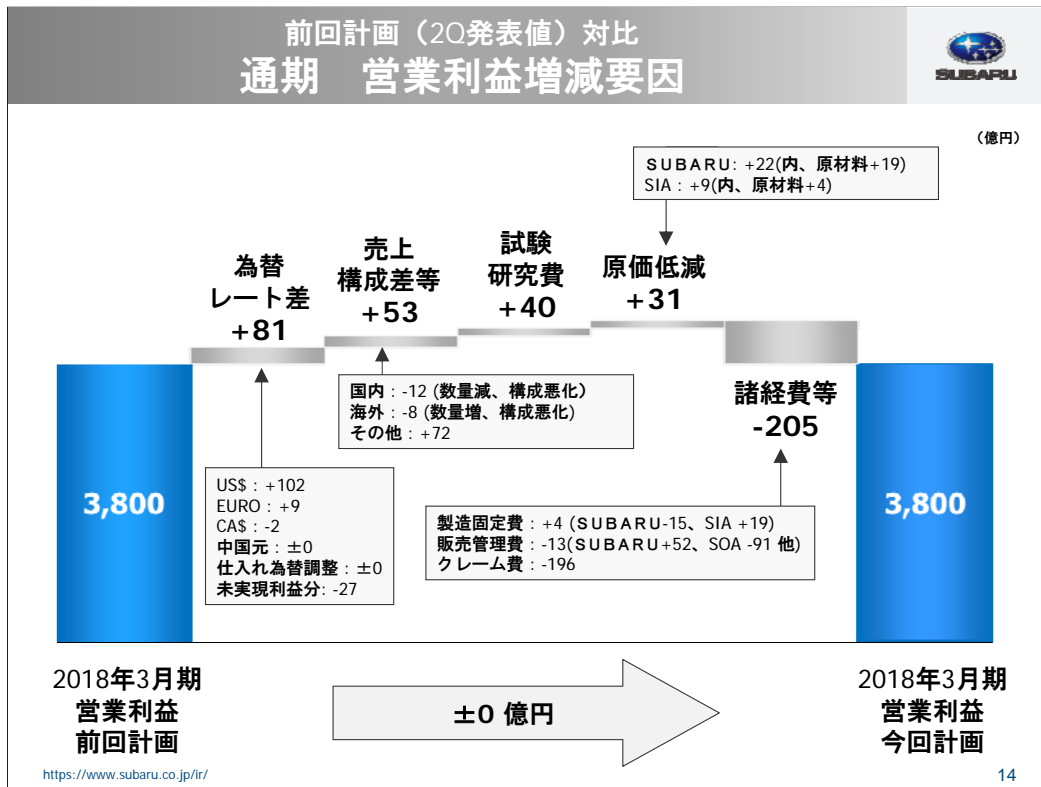
<5>売上構成差等で-38億円です。要因は次の3つです。

①新車国内は+113億円。

②新車海外は-287億円。

③在庫調整等その他で+136億円です。

以上で、2018年3月期の通期営業利益は、前年実績4,108億円から308億円の減益となる 3,800億円を計画しています。



次は、前回計画からの増減要因となります。

増益要因は、

<1>為替レート差で+81億円です。

米ドルは約1円の円安を見込み+102億円。ユーロは約2円の円安で+9億円、カナダドルは約1円の円高で-2億円。その他、在庫未実現利益分として-27億円を計画しています。

<2>売上構成差等で+53億円です。要因は次の3つです。

- ①新車国内は-12億円。
- ②新車海外は-8億円。
- ③在庫調整等その他で+72億円です。

<3>試験研究費の減少で+40億円です。

<4>原価低減は+31億円です。そのうち、

SUBARUでは、原価低減により+3億円、原材料・市況等により+19億円で、+22億円。SIAでは、原価低減により+5億円、原材料等により+4億円で、+9億円を見込みます。

一方、減益要因は

<5>諸経費等の増加で-205億円です。要因は次の3つです。

①製造固定費の減少により+4億円です。そのうち、SUBARUでは、固定加工費の増により-15億円。

SIAでは、外製型費の減により+12億円、固定加工費の減により+7億円で、+19億円を見込みます。

②販売管理費の増加で-13億円です。

SUBARUで+52億円、国内ディーラーは+4億円、SOAは-91億円、カナダ子会社は+6億円、その他で+16億円です。SOAにつきましては、広告宣伝費等は+5億円となり、インセンティブは、今回計画は台あたり\$2,000と、前回計画の\$1,850から、\$150増え、-96億円を計画しています。

③クレーム費の増で-196億円です。

以上で、2018年3月期の通期営業利益は、前回計画から変更なく、3,800億円を計画しています。

## 通期計画 海外子会社業績



(Million US\$)

SOA	2017年3月期 実績	2018年3月期 計画	増減
売上高	17,947	18,393	+446
営業利益	671	359	-312
当期純利益	421	239	-182
小売販売台数(千台)	625.0	652.8	+27.8

SIA	2017年3月期 実績	2018年3月期 計画	増減
売上高	7,525	7,662	+137
営業利益	236	171	-65
当期純利益	148	107	-41
生産台数(千台)	335.2	349.0	+13.8

<https://www.subaru.co.jp/ir/>

15

米国子会社の業績計画です。

SOAの通期小売販売は、インプレッサ、クロストレックの販売好調により、前年に対し2万7千8百台増の65万2千8百台を目指します。

売上高は前年同期比+\$446Mの\$18,393Mを見込みます。

営業損益につきましては、数量・構成差+\$33M、販管費の増-\$345Mにより、前年同期比\$312Mの減益となる\$359Mを計画しています。

SIAの売上高は、前年に対し+\$137Mの\$7,662Mを見込みます。営業損益は、数量価格構成差+\$37M、原価低減及び市況-\$6M、固定費増-\$96Mにより、対前年同期比-\$65Mとなる\$171Mを見込みます。



通期計画 設備投資・減価償却費・試験研究費・有利子負債						
(億円)						
	2017年3月期 実績 (a)	2018年3月期 前回計画 (b)	2018年3月期 今回計画 (c)	増減 (c) - (a)	増減 (c) - (b)	
設備投資	1,585	1,500	1,500	-85	±0	
減価償却費	770	920	920	+150	±0	
試験研究費	1,142	1,300	1,260	+118	-40	
有利子負債	1,483	1,000	950	-533	-50	

<https://www.subaru.co.jp/ir/> 16

続きまして、設備投資、減価償却費、試験研究費、有利子負債の通期計画です。

設備投資、減価償却費につきましては、  
前回計画と変わらず、それぞれ1,500億円、920億円を予定しています。

試験研究費につきましては、前回計画より40億円減となる1,260億円を計画します。

最後に、当社の不適切な完成検査に関連するリコールについて補足させていただきます。

前回の第2四半期の決算発表時点では、対象台数約25万台、費用総額約100億円と見積もって  
おりましたが、本日届け出を行いました追加リコール2.7万台分を含め、対象台数約42万台、費用  
総額約250億円として第3四半期決算実績に織り込んでおります。

以上で2018年3月期 第3四半期決算の説明を終わります。  
ありがとうございました。

## ご参考 (1)

- 連結営業外収支 / 特別損益
- セグメント情報(事業別 / 所在地別)
- 海外売上高
- 単独販売台数

## 第3四半期累計 連結営業外収支／特別損益



(億円)

	2017年3月期 3Q累計 実績	2018年3月期 3Q累計 実績	増減
金融収支	20	42	+23
為替影響	-91	-26	+65
海外子会社税務関連損失	-	-37	-37
その他	-24	-11	+13
<b>営業外収支</b>	<b>-96</b>	<b>-32</b>	<b>+64</b>
固定資産売却益	3	3	-0
投資有価証券売却益	101	7	-94
固定資産除売却損	-32	-42	-10
エアバッグ関連損失	-	-813	-813
事業終了損失	-50	-	+50
その他	-6	-11	-5
<b>特別損益合計</b>	<b>16</b>	<b>-855</b>	<b>-871</b>

<https://www.subaru.co.jp/ir/>

18

## 第3四半期累計 事業セグメント別業績



(億円)

	売上高			営業利益		
	2017年 3月期 3Q累計 実績	2018年 3月期 3Q累計 実績	増減	2017年 3月期 3Q累計 実績	2018年 3月期 3Q累計 実績	増減
自動車	23,053	24,339	+1,286	2,987	2,903	-84
航空宇宙	964	1,067	+103	50	116	+66
その他*	262	240	-22	24	40	+15
消去・全社	/	/	/	7	5	-2
合計	24,279	25,646	+1,367	3,068	3,063	-5

\* 2017年3月期第3四半期より報告セグメントの区分を変更、従来の「産業機器」は「その他」へ集約

<https://www.subaru.co.jp/ir/>

19

## 第3四半期累計 所在地別セグメント業績



(億円)

	売上高			営業利益		
	2017年 3月期 3Q累計 実績	2018年 3月期 3Q累計 実績	増減	2017年 3月期 3Q累計 実績	2018年 3月期 3Q累計 実績	増減
日本	6,885	7,422	+537	1,940	2,419	+479
北米	15,480	16,720	+1,240	883	582	-302
その他	1,914	1,504	-410	66	36	-30
消去・全社				178	26	-152
合計	24,279	25,646	+1,367	3,068	3,063	-5

<https://www.subaru.co.jp/ir/>

20

## 第3四半期累計 連結海外売上高



(億円)

	2017年3月期 3Q累計 実績	2018年3月期 3Q累計 実績	増減
北米	16,180	17,610	+1,430
欧州	827	851	+24
アジア	1,581	1,074	-507
その他	1,242	1,267	+24
合計	19,830	20,801	+971

## 第3四半期累計 単独販売台数



(千台)

	2017年3月期 3Q累計 実績	2018年3月期 3Q累計 実績	増減
国内生産	543.1	532.2	-10.9
国内売上	113.8	125.9	+12.1
登録車	89.5	103.4	+13.9
軽自動車	24.3	22.5	-1.9
輸出台数	441.5	419.6	-21.9
海外生産用部品	259.0	266.0	+7.0
単独売上合計	814.3	811.4	-2.8

※ 国内生産台数にはトヨタ86を含む

<https://www.subaru.co.jp/ir/>

22

## ご参考 (2)

- 第3四半期(3か月) 連結業績
- 第4四半期(3か月)連結業績計画



## 第3四半期（3か月） 連結完成車販売台数



(千台)

	2017年3月期 3Q 実績	2018年3月期 3Q 実績	増減
登録車	30.7	30.4	-0.2
軽自動車	6.8	6.1	-0.8
<b>国内合計</b>	<b>37.5</b>	<b>36.5</b>	<b>-1.0</b>
米国	174.4	175.8	+1.5
カナダ	12.0	13.7	+1.7
ロシア	0.3	2.0	+1.7
欧州	11.3	10.7	-0.6
豪州	15.5	14.3	-1.2
中国	10.2	7.7	-2.5
その他	12.5	9.8	-2.7
<b>海外合計</b>	<b>236.3</b>	<b>234.1</b>	<b>-2.2</b>
<b>合計</b>	<b>273.8</b>	<b>270.6</b>	<b>-3.2</b>

<https://www.subaru.co.jp/ir/>

※ 中国 2017年3月期：暦年決算7～9月、2018年3月期：年度決算10～12月

24

## 第3四半期(3か月) 連結業績



(億円)

	2017年3月期 3Q 実績	2018年3月期 3Q 実績	増減
売上高	8,502	8,783	+281
国内	1,589	1,559	-30
海外	6,913	7,224	+311
営業利益	982	942	-41
経常利益	694	904	+210
税前利益	633	892	+259
親会社株主に帰属する 当期純利益	437	678	+242
単独為替レート	¥105/US\$	¥112/US\$	+¥8/US\$

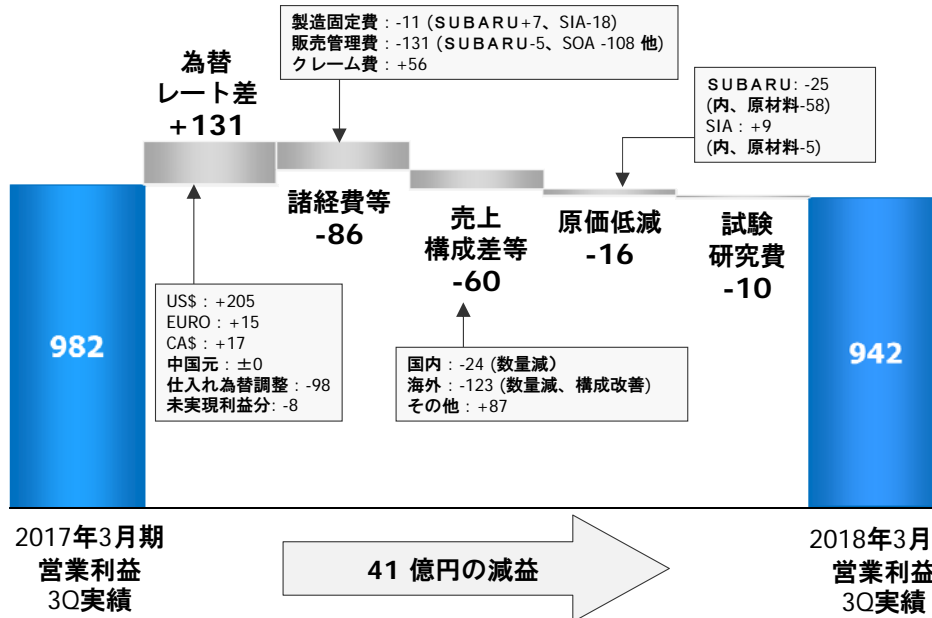
<https://www.subaru.co.jp/ir/>

25

# 第3四半期 (3か月) 営業利益増減要因



(億円)



<https://www.subaru.co.jp/ir/>

26

## 第4四半期(3か月) 連結完成車販売台数



(千台)

	2017年3月期 4Q 実績	2018年3月期 4Q 計画	増減
登録車	43.3	36.9	-6.4
軽自動車	10.2	9.5	-0.7
<b>国内合計</b>	<b>53.4</b>	<b>46.3</b>	<b>-7.1</b>
米国	166.3	162.2	-4.1
カナダ	12.6	12.5	-0.1
ロシア	1.3	2.0	+0.7
欧州	11.2	10.6	-0.5
豪州	11.2	13.8	+2.7
中国	12.0	4.8	-7.2
その他	10.8	12.9	+2.0
<b>海外合計</b>	<b>225.3</b>	<b>218.8</b>	<b>-6.5</b>
<b>合計</b>	<b>278.7</b>	<b>265.2</b>	<b>-13.6</b>

<https://www.subaru.co.jp/ir/>

※ 中国：2017年3月期：暦年決算10～12月、2018年3月期：年度決算1～3月

27

## 第4四半期(3か月) 連結業績



(億円)

	2017年3月期 4Q 実績	2018年3月期 4Q 計画	増減
売上高	8,981	8,454	-527
国内	2,054	1,858	-196
海外	6,927	6,595	-331
営業利益	1,041	737	-304
経常利益	971	719	-253
税前利益	959	704	-255
親会社株主に帰属する 当期純利益	748	542	-207
単独為替レート	¥114/US\$	¥112/US\$	-¥3/US\$

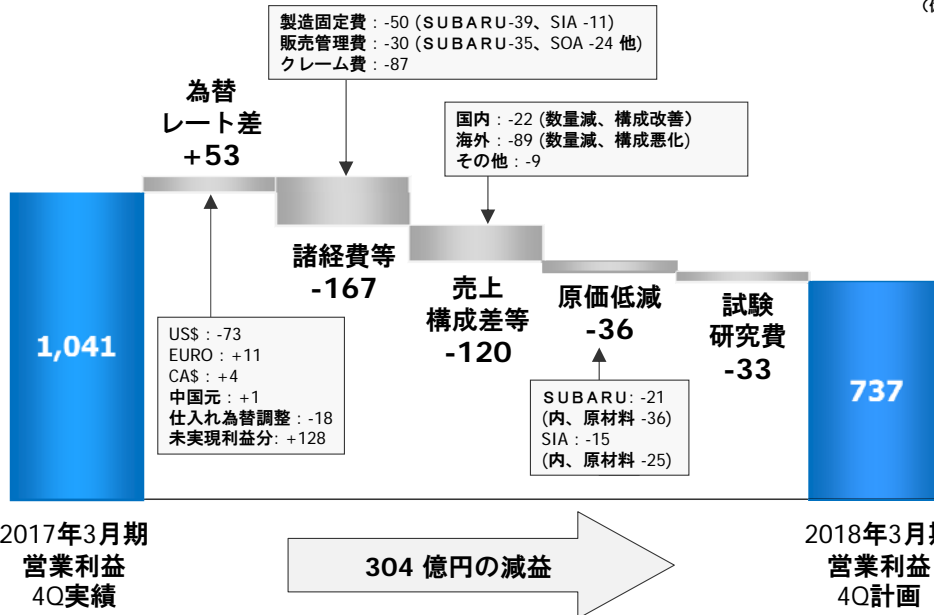
<https://www.subaru.co.jp/ir/>

28

# 第4四半期（3か月） 営業利益増減要因



(億円)



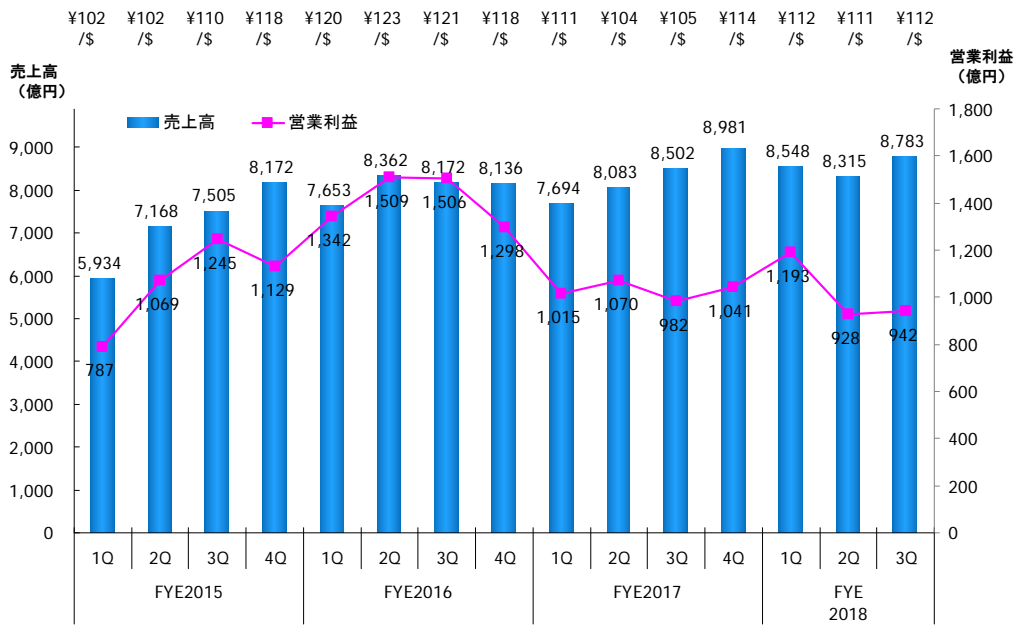
<https://www.subaru.co.jp/ir/>

29

### ご参考 (3)

- 売上高 / 営業利益 推移
- 連結販売台数 / 営業利益率 推移
- 生産台数 / 小売台数 推移
- FCF / 自己資本比率 推移
- 有利子負債 / D/Eレシオ 推移
- 主な広報発表案件

# 売上高 / 営業利益 推移



<https://www.subaru.co.jp/ir/>

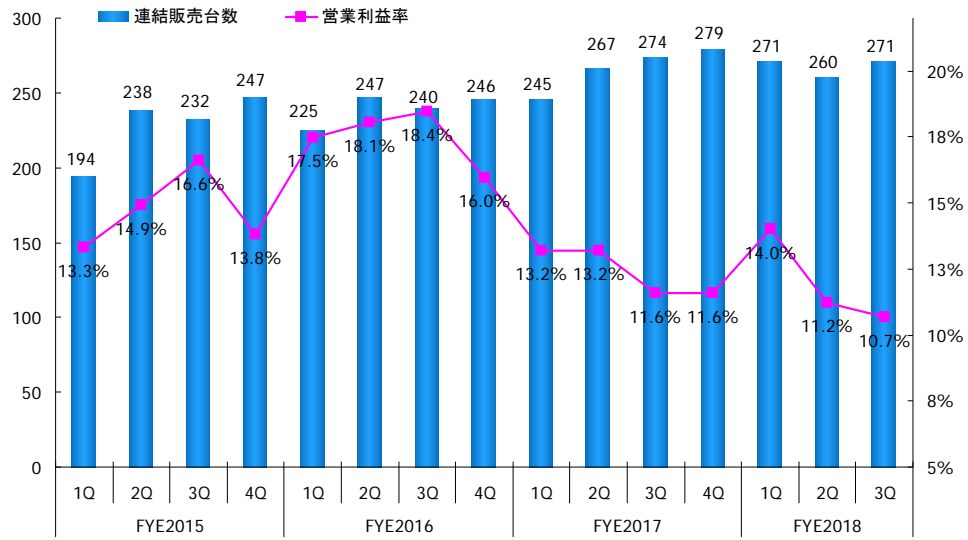


# 連結販売台数 / 営業利益率 推移



連結販売台数  
(千台)

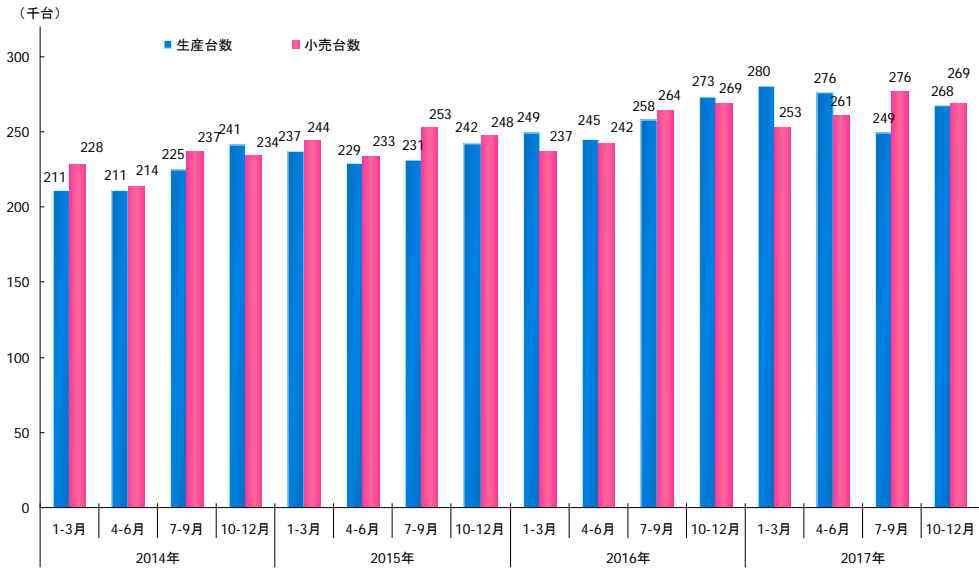
営業利益率



<https://www.subaru.co.jp/ir/>

32

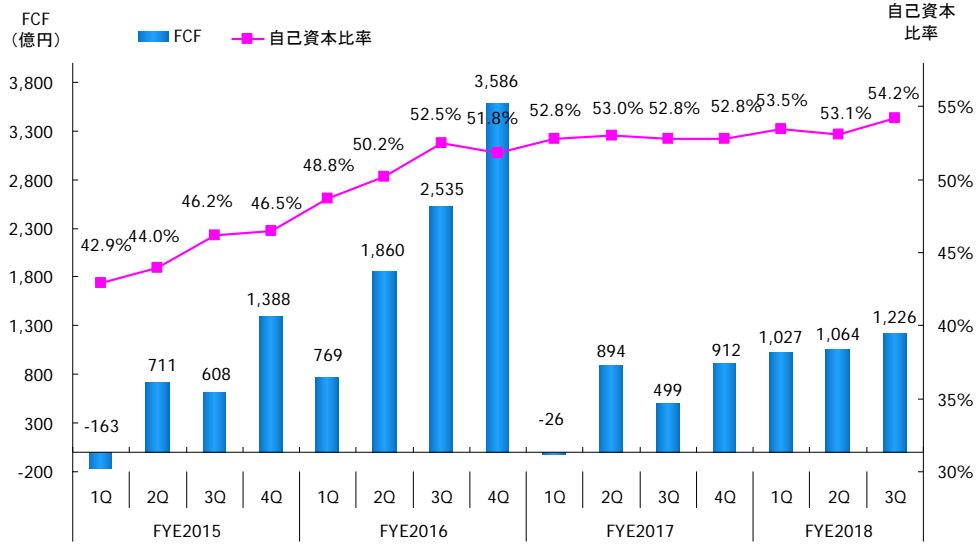
# 生産台数 / 小売台数 推移



※ 生産台数にはトヨタ86を含む

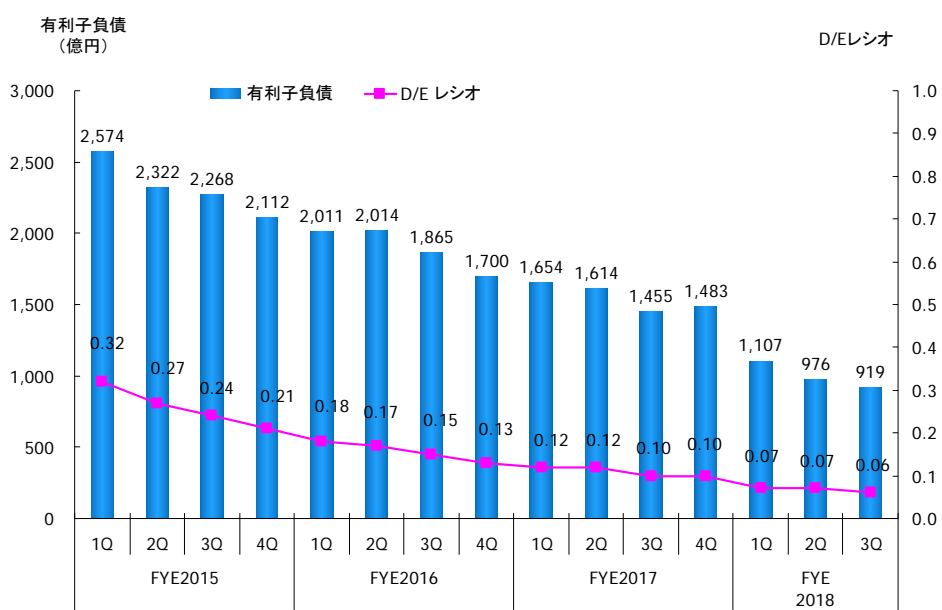
<https://www.subaru.co.jp/ir/>

# FCF / 自己資本比率 推移



<https://www.subaru.co.jp/ir/>

# 有利子負債 / D/Eレシオ 推移



<https://www.subaru.co.jp/ir/>

## 第3四半期 主な広報発表案件



(発表日)

### 商品

- ・ 2018年型 SUBARU XV、WRXが米国IIHSの2017年安全評価で最高評価「トップセイフティピック (TSP) +」を獲得  
～アイサイトを装着したSUBARU全車がTSP+を獲得～ (10/6)
- ・ 北海道・美深試験場の「高度運転支援技術テストコース」完成 (10/23)
- ・ 「SUBARU VIZIV PERFORMANCE CONCEPT」を東京モーターショー2017で世界初公開 (10/25)
- ・ WRX STI 特別仕様車「S208」を450台限定発売 (10/25)
- ・ SUBARU BRZに最上級グレード「STI Sport」を設定 (10/25)
- ・ 「サンバーバン」「ディアスワゴン」改良モデルを発売 (11/13)
- ・ SUBARU 北米市場専用新型3列SUV「ASCENT (アセント)」を世界初公開 (11/29)
- ・ 「インプレッサ」「SUBARU XV」が欧州の2017年安全性能総合評価で最高評価「ファイブスター」を獲得 (11/29)
- ・ SUBARU 6車種が米国IIHSの2018年安全評価で「トップセイフティピック (TSP)」を獲得 (12/8)
- ・ 「シフォン」「シフォンカスタム」改良モデルを発売 (12/18)

### 完成検査関連

- ・ 当社製自動車の完成検査に関わる社内調査結果について (10/27)
- ・ 当社製自動車の完成検査に関わる不適切な事案による登録停止車両への対応  
および 市場措置 (リコール) の開始日について (11/9)
- ・ 当社群馬製作所における完成検査に係る不適切事項に関する実態調査および再発防止策検討結果について (12/19)
- ・ 本日の一部報道について (12/20)

### その他

- ・ SUBARU 汎用エンジン・発電機等の生産・販売を終了 (10/2)
- ・ SUBARU 証券アナリストによるディスクロージャー優良企業 (平成29年度) に選定 (10/12)
- ・ 神戸製鋼所の不適切行為に伴うSUBARU製自動車への影響について (10/19)
- ・ SUBARUテックツアー ボーイング787「中央翼」体感フライトを開催 (10/23)

<https://www.subaru.co.jp/ir/>

36



本資料に記載されている計画、戦略などのうち、歴史的事実でないものは、現在入手可能な情報、予測に基づいた仮定、および判断であり、様々なリスクや不確実性を含みます。将来における当社の実際の業績は、当社を取り巻く経済情勢、需要や為替レートの変動などにより、これらと異なる結果となる場合がございます。従いまして、この見通しのみで全面的に依拠されることは避けて頂きますようお願い致します。

<https://www.subaru.co.jp/ir/>



<https://www.subaru.co.jp/fr/>